

# うぐいす



## あなたは伊達政宗の曾祖父伊達植宗が 丸森に住んでいたことを知っていますか

丸森町子ども郷土誌にも登場する、丸森に隠居した伊達政宗の曾祖父 伊達植宗とはどんな武将だったのでしょうか、ちょっと調べてみました。

### 〈伊達植宗とは〉

伊達植宗(だて たねむね、1488-1565年)は伊達氏の第14代当主。室町幕府との結びつきや婚姻外交によって伊達家を一気に勢力拡大させ、陸奥守護になりました。分国法「塵芥集」の制定や徴税台帳の作成など、伊達家の体制強化に取組みました。他国との外交政策をめぐる子の晴宗らと争いとなり(天文の乱)植宗が負けて家督を晴宗に譲り、丸森に隠居をしました。

### 〈伊達氏と相馬氏の争い〉

天文の乱に負けた植宗は、丸森に隠居してから17年後の1565(永禄8)年に丸山城で亡くなりました。植宗が隠居している間、世話をしていたのは娘の嫁ぎ先である相馬氏で、植宗の死後、丸森・金山・大内・小斎を攻め落とし、自分の領地としました。伊達氏は他氏との争いもあり、すぐには領地を取り返すことができず、1576(天正4)年になって伊達輝宗が小斎矢ノ目館に出陣しました。また、1581(天正9)年には、伊達政宗が相馬氏との戦いでこの伊具の地で初陣しました。勝負が決まらないで動きが止まっていた時、相馬方であった小斎城主の佐藤宮内が伊達氏に味方したことから、伊達氏が有利となり、近隣諸氏の仲裁により、丸森・金山などは伊達氏のものとなりました。

この様に、丸森町には伊達氏の中興の祖ともいえる植宗が住んでいたり、政宗が初陣したりしました。この他にも丸森町には、いろんな歴史や史跡などがあります。もっともっと、ふるさとを知りたいと思いませんか。

教育委員会生涯学習課では、みなさんのふるさと学習を応援するために、ふるさと学習バス、出前講座、文化財研修会などを行なっています。

まちを、ふるさとを、知りたいと思ったら、生涯学習課にご相談下さい。





## 祝日のはなし 海の日(7月17日)

7月第3月曜日。国民の祝日。

制定の主旨は「海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う」ものです。この日はもともと、海運の重要性を認識し、海運・海事関係者に感謝することを主旨とする「海の記念日」として、1941(昭和16)年の第1回目以来国民行事が行われてきました。その起源は、明治天皇が1876(明治9)年東北地方巡幸の際、軍艦によらず灯台視察船の汽船「明治丸」(1028トン、現在東京海洋大学に保存)で青森から函館経由、7月20日横浜に帰着したことによります。2001年の改正により、7月20日であった海の日は2003年から7月の第3月曜日に変更となりました。

みなさんは、お休みをどのように活用していますか。ふるさと学習を試してみるのも良いかもしれませんね。

### 7月のこよみ

- 7月 1日(土) 齋理蔵の講座
- 7月 2日(日) 生涯学習推進協力員研修(金山・大内・小斎)
- 7月 8日(土) アクリル絵画入門
- 7月 9日(日) 生涯学習推進協力員研修(館矢間・大張・耕野)
- 7月11日(火) はつらつ学園
- 7月15日(土)・16日(日)ジュニアリーダー中級研修会
- 7月16日(土) 生涯学習推進協力員研修(丸森・筆甫)
- 7月17日(月) 海の日
- 7月18日(火) はつらつ学園
- 7月22日(土) アクリル絵画入門
- 7月28日(金)  
~30日(日) ジュニアリーダー初級研修会